

松阪の文化を知る

美しく洗練された松阪木綿の魅力と

それを世に広めた商人たちの活躍

松阪の人と自然にふれる

松阪という地域に息づく自然とそこに生まれ育った人の思い

## 松阪商人の館

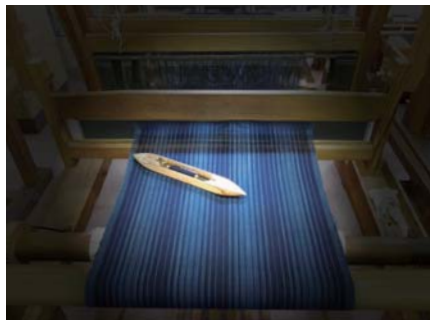
松阪が「商人の町」として最も栄えた江戸時代、商人たちは遙か江戸にも足を運び、店を構えて活躍していました。豪商・小津清左衛門の邸宅を資料館として公開しているのがこの「松阪商人の館」。20もの部屋と二棟の土蔵を備えており、江戸で紙や木綿を手広く商っていた「江戸店持伊勢商人（えとだなもちいせしやうにん）」の繁栄ぶりを伝えています。



松阪市本町2195 ☎0598-21-4331  
4月～9月 9:00～16:30、10月～翌年3月 9:00～16:00  
定休/月曜日、祝日の翌日、年末年始  
※展示替えて臨時休館することがあります。

## 松阪もめん手織りセンター

松阪の商人たちによって江戸で販売された松阪木綿は、その清々しい色と潔さを感じさせる縞模様で「粋」好みの江戸っ子たちの心をつかみ、元禄時代に大流行しました。防虫効果もある藍の機能性も庶民たちが喜んで受け入れるところだったのでしょうか。デザイン、機能ともにシンプルな魅力は今も幅広い層に根強い人気を得ています。越後屋（三井邸）跡にあり、松阪木綿の情報を発信するほか、伝統的な手織り製品から手軽な小物まで幅広い商品を扱っています。



松阪市魚町1658-3 ☎0598-26-6355  
10:00～18:00 ※12月～2月は 17:30まで（入場無料）  
定休/木曜（祝日の場合は営業）、年末年始  
<http://matsusakamomen.com/>

## 旧長谷川邸

小津清左衛門、三井高利とともに松阪三大豪商として知られる長谷川治郎兵衛の旧宅、木綿問屋「丹波屋」。広い敷地と重厚な黒壁の蔵が印象的で、こちらも商人の館・小津邸とともに、当時の豪商の繁栄ぶりを今に伝えています。本宅の主家中心部は江戸中期・元禄時代の建造でありながら保存状態が大変良く、また当時の商いの様子を伝える二万三千点もの古文書が完全な状態で保存されており、高い資料価値を持つ文化財でもあります。

松阪市魚町1653  
※「特別公開」を行っている時以外は内部の見学はできません。



## 松浦武四郎記念館

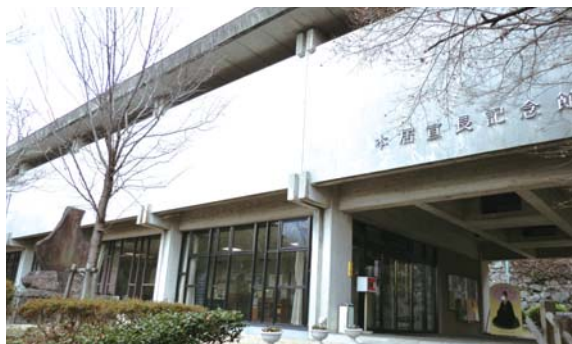
松尾芭蕉、本居宣長とともに、三重県が生んだ偉人のひとりとして数えられる松浦武四郎の貴重な資料を数多く収蔵している博物館。探検家として全国を歩き、特に「北海道」の名付け親として知られている武四郎ですが、実は作家・地理学者・画家・博物学者として数多くの顔を持っていました。また、アイヌ文化を尊重しその保護に努め、人々から篤く慕われていた人格者でもありました。そのような武四郎の知られざる功績や人物像を後世に守り伝えようと、松浦家から寄贈された国の重要文化財に指定されている資料を中心に展示を行っています。



松阪市小野江町383 ☎0598-56-6847  
9:30～16:30  
定休/月曜（月曜が休日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始  
※ただし、祝日の翌日が土・日・祝にあたる場合は開館します

## 本居宣長記念館

商家に産まれながら学問を好み、日本の古典研究に一生をかけた国学者で、その集大成「古事記伝」で知られる本居宣長。鈴をこよなく愛したエピソードで知られ、町の至るところで彼にあやかったオブジェやネーミングに出会うことができます。「鈴屋すずのや」と呼ばれた旧宅も隣に移築され、あわせての拝観が可能。自筆稿本や遺品、自画像など、彼ゆかりの貴重で興味深い資料を多数展示している博物館です。



松阪市殿町1536-7 ☎0598-21-0312  
9:00～16:30  
定休/月曜、年末年始